

ところざわ倶楽部

活動報告「狭山市内の旧鎌倉街道巡り」

野老澤の歴史をたのしむ会
2022年、6、4 記 稲村 貢



入曽の七曲り井



清水八幡神社
(柴崎善博さん撮影)

- 実施日 2022年6月2日(木) 9時30分～12時30分
- 参加者 22名 ○天候 晴
- 集合場所 西武新宿線入曽駅 解散場所 狭山市駅
- 徒歩距離 約6キロ
- 主な見学地
 - 1 入間野神社→2 常泉寺の観音堂→3 入曽の七曲井→4 野々宮神社→5 白山神社→6 徳林寺→7 八幡神社→8 伝八丁の渡し→9 清水八幡神社
- 出発前に今回の旧鎌倉街道巡りのフィールドワーク(現地探訪)では以下の2点に留意して観察してほしいと話しました。
 - 1 今年大河ドラマ「鎌倉殿の13人」で鎌倉時代や「いざ鎌倉」の鎌倉街道が注目されていますが、実際に旧鎌倉街道を巡りながら、当時の人々はどのような気持ちで歩いていたか、また当時の街道周辺の原野や森林などの風景を想像しながら、いかに現代の私たちの生活が自然破壊の上に成り立ってきているか実感してもらいたい。
 - 2 私たちの日常生活がいかに便利で物が豊かであるかの象徴であるコンビニが全国に55,000、薬局も60,000あるといわれています。対して法人登録されている神社は78,500、寺院は74,000もあるという興味深いデータがあります。にもかかわらず現代社会では昭和20年～30年代に比べて神社、寺院の存在感が日常生活において極めて薄い。このことが児童虐待やオレオレ詐欺などに象徴されるモラルハザード(道徳心の崩壊)の風潮をもたらしている大きな要因の一つではないかという問題提起をさせていただきました。日本の神社や寺院は千数百年にわたって地域住民全体及び一人一人の幸福を祈り願ってきたからこそ今日まで存在してきたと想像されます。今回鎌倉街道の道筋にある神社や寺院の見学を通して、日本人の生き方に神社や寺院はどのような影響を持ってきたか、また日本人の幸福感について改めて学ぶ機会にしてもらおうと有り難いです。
- 主な見学地の説明は以下の旧鎌倉街道の説明資料により行いました。

旧鎌倉街道(入間川道)巡りの説明資料

1022.6.2

<狭山市内の鎌倉道の変化と道筋の神社と寺院から日本人の幸福感を学ぶ>

1 入間野神社

- 建久2年(1191)、入間地区5村社統合して創建
- 毎年10月に県指定無形文化財「入曽の獅子舞」が奉納
- 雨乞い、疫病退散、豊作を祈願し村々の各家を廻る

2 常泉寺の観音堂

- 文保2年（1318）、村人が観音に雨乞いを祈願し古井戸を掘る
- 毎年1月11日観音様のお祭りで賑やかな馬の市が開かれた

3 入曽の七曲り井

- 入間地区最古で最大の「堀兼井」の史跡、かつて周辺に13箇所あり
- 周囲7.3m直径2.6m深さ11.5mのすり鉢状の古井戸（まいまいず井戸）
- 堅堀井技術（上総掘り）により江戸中期に衰退、昭和45年市教育により復元

4 野々宮神社

- 創建不詳も日本武尊一族が日向国から支配の伝承、現・宮司56代宮崎姓
- 入曽囃子は江戸後期（1820年代）に神田囃子を伝授されたのが始まり
- 市の文化財で平安初期の「古代かめ」（弥生式作り）が保存

5 白山神社

- 加賀の白山を祭神とする神社、日本の三霊山は富士山、白山、立山（雄山）
- 山岳信仰は山を恵み（水・動植物）と崇め、噴火や災害を鎮める神として信仰

6 徳林寺

- 曹洞宗（福聚山）武蔵野33観音17番目の霊場、全国のトンネル貫通石展示
- 新田義貞が元弘の乱の鎌倉攻めの際、本陣を置き滞留したとの伝承あり
- 足利尊氏京都に上京のため四男基氏を関東公方につけた入間川殿御所伝承あり

7 八幡神社

- 八幡神社の祭神は応神天皇、総本社は大分の宇佐神宮、全国に44,000あり
- 新田義貞、元弘の乱の際戦勝祈願し、「新田八幡宮」と呼称、「義貞駒繫松」あり
- 津村節子著「星祭りの町」記念石碑（令和3年春建立）あり

8 八丁渡し（伝承・入間川宿跡）

- 鎌倉時代には北関東、信越との交通上、軍事上で重要な宿場、八丁は約872m
- 頼朝の娘・大姫の許嫁木曾義高が鎌倉から逃亡も追っ手に捕捉（伝承・影隠地蔵）

9 清水八幡神社

- 清水冠者（木曾義高）終焉の地として祀られた、北条政子が創建、神田寄贈
- 木曾義高は義仲の嫡子、人質で鎌倉へ、頼朝が義仲殺害後、謀殺（12歳）
- 北条政子は義高殺害に怒り犯人の藤内光澄を打ち首にし、義高を篤く葬る
- 参加者の皆様にはたいへん暑い道中で私の拙い説明にもかかわらずよく耳を傾けていただきありがたかったです。深く感謝申し上げます。
- 最後に所沢市及び周辺の東村山市と狭山市の旧鎌倉街道巡りを3回にわたって私が企画し説明をさせていただきました。
- この旧鎌倉街道巡りは今回にて終了とさせていただきます。
- 長らくのご協力ありがとうございました。

今回の担当者：B・Cグループ 稲村・柴崎・岡戸